消費者庁 Consumer Affairs Agency, Government of Japan

News Release

平成２４年１１月２日

消費生活用製品の重大製品事故に係る公表について

消費生活用製品安全法第３５条第１項の規定に基づき報告のあった重大製品事故について、以下のとおり公表します。

１．ガス機器・石油機器に関する事故　　４件
（うち密閉式（ＢＦ式）ガスふろがま（都市ガス用）１件、カセットこんろ１件、
ガス調整器（ＬＰガス用）１件、
屋外式（ＲＦ式）ガス給湯付ふろがま（都市ガス用）１件）

２．ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因が疑われる事故　　１件
（うち空気清浄機１件）

３．ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因か否かが特定できていない事故　　６件
（うち電気冷蔵庫１件、ルーター（パソコン周辺機器）１件、エアコン１件、
電気冷凍庫１件、床ずれ防止用マットレス１件、
電動車いす（ハンドル形）１件）

４．製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故情報検討会及び第三者委員会合同会議（※）において、審議を予定している案件　　１件
（うち照明器具（投光器）１件）

１．～４．の詳細は別紙のとおりです。

※正式名称は「消費者庁製品事故情報検討会及び消費経済審議会製品安全部会製品事故判定第三者委員会合同会議」という。

５．留意事項

これらは消費生活用製品安全法第３５条第１項の規定に基づく報告内容の概要であり、現時点において、調査等により事実関係が確認されたものではなく、事故原因等に関し、消費者庁として評価を行ったものではありません。

本公表内容については、速報段階のものであり、今後の追加情報、事故調査の進展等により、変更又は削除される可能性があります。

６．特記事項

(1)ダイキン工業株式会社が輸入した空気清浄機について（管理番号A201200564）

①事故事象について

ダイキン工業株式会社が輸入した空気清浄機を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生しました。当該事故の原因は、現在、調査中です。

②当該製品のリコールについて

同社は、当該製品を含む対象機種（下記③）について、当該製品の電気集塵部の放電線が集塵フィルタに接触し、集塵フィルタに付着した物質が湿気等により導電性を帯びて集塵フィルタの電圧が高まり、集塵フィルタと脱臭フィルタの間で放電が発生して発煙・出火に至るおそれがあることから、事故の再発防止を図るため、平成２２年４月９日にプレスリリースを行うとともにホームページに情報を掲載し、対象製品について、平成２２年４月１０日から無償点検・修理（電気集塵部の放電線と集塵フィルタが接触しない囲み形状の部品に交換）を実施しています。

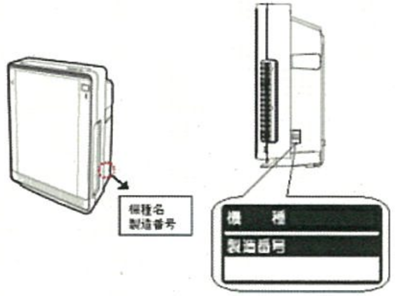
③対象製品等：対象製品、対象機種、輸入期間、改修対象台数

対象製品	対象機種	輸入期間	改修対象台数
空気清浄機（商品名：光クリエール）	ACM65TG-W、ACM75G-W、ACM75H-W、ACM75J-W、MC708J3-W、MC708K-W、MC708-W、MC709B-W、MC709J5W、MC709K-W、MC709Y-W、MC709-W、MC75JBB-W、MC75JJ6-W、MC75JKS-W、MC75JK-W、MC75JY-W、MC75J-W、MC808J3-W、MC808K-W、MC808-W、MC809B-W、MC809J5PW、MC809K-W、MC809Y-W、MC809-W、MCA70E3-W、MCA70E4-W、MCA75JE5-W、MCA80E3-W、MCA80E4-W（31機種）	2006年8月～2009年7月	616,199台
加湿空気清浄機（商品名：うるおい光クリエール）	ACK75J-W、MCK75JBB-W、MCK75JE5-W、MCK75JJ6-W、MCK75JKS-W、MCK75JK-W、MCK75JY-W、MCK75J-W（8機種）		96,297台
合　計			712,496台

改修率　　５４．８％（平成２４年９月３０日現在）

対象製品の確認方法：下記の図を参考に対象の機種名、製造番号を確認してください。

※機種名、製造番号は製品側面または製品背面に表示があります。
機種によって、外観形状が異なっていますので、機種名を確認してください。



④消費者への注意喚起

対象製品をお持ちで、まだ事業者の行う無償点検・修理を受けていない方は、直ちに使用を中止し、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

（ダイキン工業株式会社の問い合わせ先）
電 話 番 号：０１２０－３３０－６９６
受 付 時 間：２４時間受付（平日・土・日・祝日ともに）
ホームページ：http://www.daikin.co.jp/taisetsu/2010/100409/index.html
インターネットによる受付も行っています。

（本発表資料の問合せ先）
消費者庁消費者安全課
（製品事故情報担当）　担　当：大木、長井、川舩
電　話：03-3507-9204（直通）
ＦＡＸ：03-3507-9290

（ダイキン工業株式会社が輸入した空気清浄機についての発表資料に関する問合せ先）
経済産業省商務流通保安グループ製品安全課製品事故対策室
担当：宮下、古田、長沼　　電　話：03-3501-1707（直通）

■消費生活用製品の重大製品事故一覧

別　紙

1．ガス機器・石油機器に関する事故（製品起因か否かが特定できていない事故を含む）

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201200555	平成24年10月17日	平成24年10月29日	密閉式（BF式）ガスふろがま（都市ガス用）	GF-70B2（松下電器産業株式会社（現 パナソニック株式会社）ブランド）	株式会社タイヘイ（松下電器産業株式会社（現 パナソニック株式会社）ブランド）	火災	当該製品を使用中、異臭がしたため確認すると、当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生していた。当該製品に冠水痕が見られた状況を含め、現在、原因を調査中。	栃木県	10月25日に消費者安全法の重大事故等として公表済
A201200558	平成24年8月3日	平成24年10月29日	カセットこんろ	RBT-A（岩谷産業株式会社ブランド）	株式会社旭製作所（岩谷産業株式会社ブランド）（輸入事業者）	重傷1名	飲食店で当該製品を使用中、当該製品に接続したカセットボンベが破損し、1名が負傷した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	愛知県	事業者が事故を認識したのは、10月24日 8月17日に公表したカセットボンベに関する事故（A201200355）と同一
A201200560	平成24年9月9日	平成24年10月29日	ガス調整器（LPガス用）	H-70B	伊藤工機株式会社	火災	燃焼器具を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。燃焼器具とガスボンベの距離が近かったため、ガスボンベが熱せられ、当該製品の安全弁からガスが噴出し、燃焼器具の火に引火した可能性を含め、現在、原因を調査中。	宮崎県	事業者が事故を認識したのは、10月24日 10月23日に経済産業省商務流通保安グループにて公表済事故 11月1日に消費者安全法の重大事故等として公表済
A201200561	平成24年10月21日	平成24年10月30日	屋外式（RF式）ガス給湯付ふろがま（都市ガス用）	GT-2410SAR	株式会社ノーリツ	火災	当該製品を使用中、異臭と異音がしたため確認すると、当該製品から出火する火災が発生しており、当該製品を焼損した。現在、原因を調査中。	神奈川県	11月1日に消費者安全法の重大事故等として公表済

2．ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201200564	平成24年10月21日	平成24年10月31日	空気清浄機	ACM75H-W	ダイキン工業株式会社（輸入事業者）	火災	当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	兵庫県	平成22年4月10日からリコールを実施（特記事項を参照） 改修率 54.8% 11月1日に消費者安全法の重大事故等として公表済

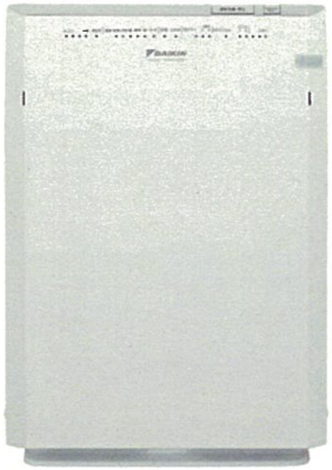
3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201200554	平成24年10月19日	平成24年10月29日	電気冷蔵庫	火災	当該製品を使用中、ブレーカーが作動したため確認すると、当該製品を焼損する火災が発生していた。当該製品の設置状況を含め、現在、原因を調査中。	新潟県	
A201200556	平成24年10月9日	平成24年10月29日	ルーター(パソコン周辺機器)	火災	当該製品を使用中、火災報知機が鳴動したため確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。当該製品から出火したのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	愛知県	
A201200557	平成24年10月19日	平成24年10月29日	エアコン	火災	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品から出火したのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	鹿児島県	
A201200559	平成24年10月20日	平成24年10月29日	電気冷凍庫	火災	店舗で当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品の設置状況を含め、現在、原因を調査中。	福岡県	
A201200562	平成24年10月	平成24年10月30日	床ずれ防止用マットレス	重傷1名	使用者(100歳代)が当該製品を敷いたベッドから滑り落ち、負傷した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	広島県	
A201200565	平成24年10月23日	平成24年10月31日	電動車いす(ハンドル形)	死亡1名	使用者(80歳代)が当該製品に乗車中、踏切内で列車にはねられ死亡した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	兵庫県	

4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故情報検討会及び第三者委員会合同会議において審議を予定している案件

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201200563	平成24年9月23日	平成24年10月30日	照明器具(投光器)	火災	当該製品を使用中、エアゾール缶(殺虫剤)を噴射したところ、火災が発生した。 屋外用の当該製品を床下に設置し、使用中にエアゾール缶を噴射したことにより、当該製品が発火源となり、エアゾール缶から噴出したガスに引火したものと考えられる。	新潟県	事業者が事故を認識したのは、10月24日 10月23日に公表したエアゾール缶(殺虫剤)に関する事故(A201200524)と同一

空気清浄機（管理番号：A201200564)



消費者庁
Consumer Affairs Agency, Government of Japan

News Release

平成２４年１１月９日

消費生活用製品の重大製品事故に係る公表について

消費生活用製品安全法第３５条第１項の規定に基づき報告のあった重大製品事故について、以下のとおり公表します。

１．ガス機器・石油機器に関する事故　４件
（うち屋外式（ＲＦ式）ガスふろがま（ＬＰガス用）１件、
密閉式（ＢＦ式）ガス給湯付ふろがま（都市ガス用）１件、
ガスふろがま用バーナー（ＬＰガス用）１件、ガスこんろ（都市ガス用）１件）

２．ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因が疑われる事故　５件
（うち自転車１件、手指保護具（口腔用）１件、
電気ストーブ（カーボンヒーター）１件、空気清浄機１件、
折りたたみ椅子１件）

３．ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因か否かが特定できていない事故　５件
（うち電動車いす（ジョイスティック形）１件、電気こんろ１件、
電気洗濯機１件、電動丸ノコ１件、電動座椅子（座面昇降型）１件）

４．製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故情報検討会及び第三者委員会合同会議（※）において、審議を予定している案件
該当案件無し

１．～４．の詳細は別紙のとおりです。

※正式名称は「消費者庁製品事故情報検討会及び消費経済審議会製品安全部会製品事故判定第三者委員会合同会議」という。

５．留意事項
これらは消費生活用製品安全法第３５条第１項の規定に基づく報告内容の概要であり、現時点において、調査等により事実関係が確認されたものではなく、事故原因等に関し、消費者庁として評価を行ったものではありません。
（管理番号A201101036及びA201200057を除く。）
本公表内容については、速報段階のものであり、今後の追加情報、事故調査の進展等により、変更又は削除される可能性があります。

６．特記事項
(1)株式会社オーラルケアが製造した手指保護具（口腔用）について
（管理番号A201200057）
①事故事象について（平成２４年４月２４日に公表した事象の調査結果を踏まえ再掲載）
施設内で当該製品を使用中、当該製品の一部が破断して患者の口腔から体内に入り、病院に搬送後、窒息による死亡が確認されました。
調査の結果、当該製品には劣化の痕跡や破損の起因となるような異常は認められないが、何らかの原因で内側からクラックが生じ、継続的な使用によって破断したものと考えられます。
なお、パッケージには、使用上の注意は記載されているものの、内側の破損や破損時の危険性等の注意喚起の表示が無く、現行の注意表示では不十分であると考えられます。

②使用にあたっての注意
(a) 当製品（商品名「ゆびガード」）は、株式会社オーラルケアが製造したもので、医科医療時や障害者支援施設、介護保険施設等での口腔内ブラッシングなどの際に開口を保持するとともに医療・介護従事者等の指を守るものとして利用されています。利用に際しては、以下の点を守ってください。
・製品を使用する際には、同梱された取扱説明書をよく読んで使用してください。
・使用頻度、回数等を勘案して一定期間（事業者は、１日３回使用する場合、使用開始から６ヶ月を交換の目安としている。）で廃棄、交換をしてください。
・製品の使用前又は使用後には製品の外観（指挿入部分を含む）を目視し、ひび割れを確認した場合は使用を中止してください。挿入する指と同方向の縦のひび割れ、また製品内部（指挿入部分）のひび割れやキズは、見落としやすいので特に注意してください。
・金属製品（鉗子等）との接触等により、当製品の内部及び外部表面に破損原因となりうるキズがつかないように気をつけてください。
・万が一、製品が破損し患者の体内に残留した場合は、速やかに専門医による摘除を受けてください。なお、製品はレントゲンには映りませんので、誤飲した場合は食道及び気管の内視鏡による診断等必要な処理を受けてください。

(b) 株式会社オーラルケアでは、事故発生後、製品の販売を一時停止するとともに、ホームページで注意喚起し、また使用者にダイレクトメールで注意を呼び掛けています。
また、取扱説明書を改善（上述の注意事項を踏まえ改善）し、今後販売する製品に同梱することとしています。
なお、製品の破断事故はこれまでに４件発生していますが、いずれも折れた破片をすぐ取り除き人的被害は発生しておりません。

(c) 消費者庁としては、平成２４年５月１５日付けで厚生労働省に、製品を使用していると考えられる歯科医療機関、障害者支援施設、介護保険施設等への製品の使用にかかる注意の周知を依頼しました。

【厚生労働省のホームページ】
http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/isei/i-anzen/hourei/dl/120515-1.pdf

さらに当該製品事故の調査結果の公表に併せて、事故の再発防止のため、経済産業省及び消費者庁は、あらためて厚生労働省に、医療施設、介護施設等への注意の周知をお願いする予定です。

③当該製品の外観

（全体図）

（裏側）

（株式会社オーラルケアの問合せ先）
電 話 番 号：０１２０－５００－４１８
受 付 時 間：９時～１８時（月～金（休日を除く。））
ホームページ：http://www.oralcare.ne.jp/20120604.pdf

(2)株式会社オカキンが製造した屋外式（ＲＦ式）ガスふろがま（ＬＰガス用）について（管理番号A201200579）

※　株式会社世田谷製作所が製造したガスふろがま用バーナー（ＬＰガス用）を組み込んだもの

①事故事象について

株式会社オカキンが製造した屋外式（ＲＦ式）ガスふろがま（ＬＰガス用）を焼損する火災が発生しました。

当該事故の原因は、現在、調査中ですが、当該製品内の部品の設計の不具合により、ガバナ部（整圧器）のダイヤフラム（ガスの供給圧力の変動に応じて動く弁）に亀裂が生じて機器内部でガス漏れが発生し、漏れたガスにバーナーの炎が引火し、出火に至ったものと考えられます。

②再発防止策について

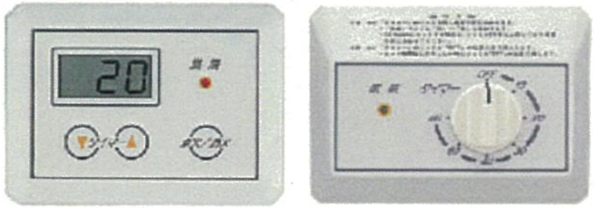
製造事業者である株式会社オカキン及び株式会社世田谷製作所と、株式会社世田谷製作所からふろがまのＯＥＭ供給を受け、販売している他２社では、当該製品を含む対象機種（下記③）について、事故の再発防止を図るため、平成１９年４月１９日からホームページによる告知により、また使用者へのダイレクトメールにより注意喚起を行い、ＯＥＭ製品を含む対象製品について無償点検・部品交換を実施しています。

③対象製品等：会社名、機種・型式、製造期間

会社名	機種・型式	製造期間
㈱オカキン	ＯＫ－ＡＲ型－ＬＥ ＯＫ－ＢＲ型－ＬＥ	1997年11月～2006年８月 1997年11月～2006年７月
㈱世田谷製作所	Ｒ３８Ｂ Ｒ１３７Ｂ ＣＳ３１Ｂ ＣＳ３２Ｂ ＣＳ３３Ｂ ＦＥ１５ ＴＡ－０９７ＵＥＴ ＴＡ－２７０ＵＥＴ ＴＡ－ＯＫ２７０ＵＥＴ ＧＳ－１	1998年５月～2006年５月 1997年６月～2006年５月 1998年６月～1998年８月 1998年10月～2006年４月 2001年５月～2001年６月 2000年４月～2006年５月 1997年９月～2006年５月 1997年８月～2006年５月 1997年８月～2006年５月 2000年11月～2005年11月
東京ガス㈱	ＳＴ－９１３ＲＦＡ ＳＴ－９１２ＲＦＢシリーズ ＳＴ－９１５０ＣＦＳ	1997年６月～2006年５月 1998年５月～2006年５月 1999年10月～2006年５月
㈱ハーマン	ＹＦ７０２	1997年６月～2002年２月

改修対象台数　　３９，３３７台
改修率　　７１．８％（平成２４年８月３１日現在）

対象製品の確認方法：浴室内に下記リモコンのどちらかが設置されている場合は、上記対象表の機種・型式、製造期間が該当していないか御確認ください。



※　ＧＳ－１のストーブは除きます。

④消費者への注意喚起

対象製品をお持ちで、まだ製造事業者等の行う無償点検・部品交換を受けていない方は、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

なお、対象製品には、ガスふろがま用バーナー及びバーナー付ふろがまを製造している株式会社世田谷製作所と、同社からバーナー付ふろがまのＯＥＭ供給を受け、販売している東京ガス株式会社及び株式会社ハーマンの製品もあります。

（株式会社オカキンの問合せ先）
電 話 番 号：０１２０－５８１－１２６
受 付 時 間：９時～１９時（日・祝日を除く。）
ホームページ：http://www.okakin.com/news/0.html

（株式会社世田谷製作所の問合せ先）
電 話 番 号：０１２０－６３４－１２６
受 付 時 間：９時～１７時（平日のみ。）
ホームページ：http://www.setagaya-seisakusyo.co.jp/cgi-bin/pdfdata/20081211220036.pdf

（東京ガス株式会社の問合せ先）
電 話 番 号：０１２０－１３３－２７８
受 付 時 間：９時～１９時（月～土）
　　　　　　９時～１７時（日・祝日）
ホームページ：http://www.tokyo-gas.co.jp/Press/20070418-03.html

（株式会社ハーマンの問合せ先）
電 話 番 号：０１２０－２４８－７７２
受 付 時 間：９時～１７時３０分（平日のみ。）
ホームページ：http://www.harman.co.jp/news/news18.html

(3) 燦坤（サンクン）日本電器株式会社が輸入した電気ストーブ（カーボンヒーター）について
（管理番号A201200583）

①事故事象について

燦坤日本電器株式会社が輸入した電気ストーブ（カーボンヒーター）を使用中、当該製品から出火する火災が発生し、当該製品及び周辺を焼損しました。当該事故の原因は、現在、調査中です。

②当該製品のリコールについて

同社は、当該製品を含む対象機種（下記③）について、当該製品の強弱切り替えスイッチに使用されているダイオードが不良品であったことにより、ダイオードが異常発熱し、火災に至るおそれがあることから、事故の再発防止を図るため、平成１９年８月７日、平成２０年４月２１日及び平成２３年２月１０日にホームページへ情報掲載するとともに、複数回にわたり新聞社告を掲載し、対象製品について回収を行い、返金又は代替品への無償交換を実施しています。

なお、平成２０年４月２１日にリコールし、既に代替品として交換したＵＨＣ－３Ｔについても代替品への無償交換又は返金対応を実施しています。

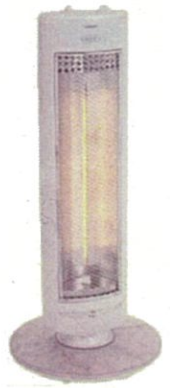
③対象製品等：製品名、機種、表示製造年、回収対象台数

製品名	機種	表示製造年	回収対象台数
電気ストーブ（カーボンヒーター）	ＵＨＣ－３Ｔ （色：ベージュ） ブランド名：ＥＵＰＡ(ユーパ)	２００９年製 ２００８年製	１６，２６９台
	ＵＨＣ－９Ｔ （色：ブルー） ブランド名：ＥＵＰＡ(ユーパ)	２００７年製	１０，３０３台
	ＴＳＫ－５３２８ＣＴ ブランド名： ＥＵＰＡ（ユーパ）	２００７年製 ２００６年製 ２００５年製	２９，１３１台
	ＴＳＫ－５３２８ＣＲＩ	２００６年製 ２００５年製	８８２台
	ＴＳＫ－５３２８ＣＲＩ(ＢＷ) ※販売元：株式会社バルス	２００５年製	４８６台
電気ストーブ（ハロゲンヒーター）	ＦＳ－９００Ｔ ※販売元：株式会社フィフティ	２００７年製 ２００６年製	１５，５９３台
合　計			７２，６６４台

回収率　　　１０．６％（平成２４年１０月３１日現在）

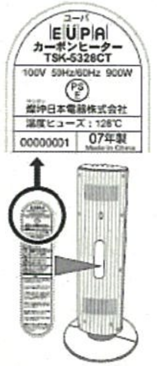
対象製品の外観及び確認方法

1）対象製品の外観



（写真はＴＳＫ－５３２８ＣＴ）

2）対象製品の確認方法：当該製品の裏面の型番を確認してください。



④消費者への注意喚起

対象製品をお持ちで、まだ事業者の行う無償交換又は回収を受けていない方は、直ちに使用を中止し、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

（燦坤日本電器株式会社　電気ストーブ（カーボンヒーター）回収交換ダイヤル）
電 話 番 号：０１２０－６００－５２７
受 付 時 間：９時～１７時（土・日・祝日、年末年始を除く。）
ホームページ：http://www.tsannkuen.jp/tkj/jsp/tkj_web/TKJMain.jsp?id=2

⑤独立行政法人製品評価技術基盤機構（ＮＩＴＥ）の対応

燦坤日本電器株式会社以外の事業者が製造・輸入・販売した電気ストーブ（カーボンヒーター）のリコール未対策品についても火災事故が発生しているため、独立行政法人製品評価技術基盤機構（ＮＩＴＥ）においては、平成２３年２月２５日より事故防止のための注意喚起チラシ「電気ストーブのリコール製品をお持ちではありませんか？」をホームページに掲載し、消費者に対して、速やかに事業者に連絡を頂くよう呼び掛けを行っています。

（独立行政法人製品評価技術基盤機構（ＮＩＴＥ）による注意喚起）
ホームページ：http://www.nite.go.jp/jiko/leaflet/data/recall_denki_110225.pdf

（本発表資料の問合せ先）
消費者庁消費者安全課
（製品事故情報担当）　担　当：大木、長井、川舩
電　話：03-3507-9204（直通）
ＦＡＸ：03-3507-9290

（株式会社オカキンが製造した屋外式（ＲＦ式）ガスふろがま（ＬＰガス用）についての発表資料に関する問合せ先）
経済産業省商務流通保安グループ製品安全課製品事故対策室
担当：宮下、谷、山田　　電　話：03-3501-1707（直通）

（燦坤日本電器株式会社が輸入した電気ストーブ（カーボンヒーター）についての発表資料に関する問合せ先）
経済産業省商務流通保安グループ製品安全課製品事故対策室
担当：宮下、古田、長沼　　電　話：03-3501-1707（直通）

■消費生活用製品の重大製品事故一覧

別　紙

1. ガス機器・石油機器に関する事故（製品起因か否かが特定できていない事故を含む）

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201200579	平成24年10月31日	平成24年11月5日	屋外式（RF式）ガスふろがま（LPガス用）	OK-AR型-LE	株式会社オカキン	火災	当該製品を焼損する火災が発生した。 事故原因は、現在、調査中であるが、当該製品内の部品の設計の不具合により、ガバナ部（整圧器）のダイヤフラム（ガスの供給圧力の変動に応じて動く弁）に亀裂が生じて機器内部でガス漏れが発生し、漏れたガスにバーナーの炎が引火し、出火に至ったものと考えられる。	広島県	平成19年4月19日からリコールを実施（特記事項を参照） 改修率 71.8% 11月5日に経済産業省商務流通保安グループにて公表済事故 11月8日に消費者安全法の重大事故等として公表済
A201200581	平成24年10月26日	平成24年11月5日	密閉式（BF式）ガス給湯付ふろがま（都市ガス用）	SR-DP（リンナイ株式会社ブランド：型式RBF-SRDP-FX-R-T）	株式会社ガスター（リンナイ株式会社ブランド）	火災 重傷1名 軽傷1名	当該製品を使用中、湯温調節をしたところ、浴室内で爆発する火災が発生し、周辺を焼損、2名が負傷した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	鹿児島県	10月29日に経済産業省商務流通保安グループにて公表済事故 11月8日に消費者安全法の重大事故等として公表済
A201200582	平成24年10月20日	平成24年11月5日	ガスふろがま用バーナー（LPガス用）	TA-ML-SB101K-F	株式会社世田谷製作所	火災	当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。浴槽へ水を入れずに点火、空焚きとなった状況を含め、現在、原因を調査中。	愛知県	11月6日に公表した半密閉式（CF式）ガスふろがま（LPガス用）に関する事故（A201200566）と同一
A201200587	平成24年10月25日	平成24年11月6日	ガスこんろ（都市ガス用）	RTS-600GFS-R	リンナイ株式会社	火災	飲食店で当該製品を使用中、当該製品から発煙し、当該製品を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	愛知県	11月8日に消費者安全法の重大事故等として公表済

2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201101036	平成24年2月9日	平成24年2月24日	自転車	402Sanctum	ビーズ株式会社 （輸入事業者）	重傷1名	当該製品で走行中、前輪が外れ転倒し、負傷した。 調査の結果、当該製品の前ホークに脱輪防止装置がなかったことから、クイックレリーズの調整ナットの締付けが十分でなかった前輪の固定部が、使用を続けるうちに緩んだ際、前輪が外れ、事故に至ったものと考えられる。 なお、取扱説明書と本体表示には、「ネジの緩みがないこと、前輪の固定はしっかり取り付けられていることやクイックレリーズのレバーが確実に倒れていることを確認する」旨、表記されている。	東京都	2月28日にガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故として公表していたもの
A201200057	平成24年4月11日	平成24年4月19日	手指保護具（口腔用）	L/S	株式会社オーラルケア	死亡1名	施設内で当該製品を使用中、当該製品の一部が破断して患者の口腔から体内に入り、病院に搬送後、窒息による死亡が確認された。 調査の結果、当該製品には劣化の痕跡や破損の起因となるような異常は認められないが、何らかの原因で内側からクラックが生じ、継続的な使用によって破断したものと考えられる。 なお、パッケージには、使用上の注意は記載されているものの、内側の破損や破損時の危険性等の注意喚起の表示が無く、現行の注意表示では不十分であると考えられる。	大阪府	4月24日にガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故として公表していたもの
A201200583	平成24年11月3日	平成24年11月5日	電気ストーブ（カーボンヒーター）	TSK-5328CT	燦坤日本電器株式会社 （輸入事業者）	火災	当該製品を使用中、当該製品から出火する火災が発生し、当該製品及び周辺を焼損した。現在、原因を調査中。	茨城県	平成23年2月10日からリコールを実施（特記事項を参照） 回収率　10.6%
A201200585	平成24年10月29日	平成24年11月6日	空気清浄機	AC-4311	ツインバード工業株式会社	火災	飲食店のトイレで当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	東京都	
A201200586	平成24年10月10日	平成24年11月6日	折りたたみ椅子	KKG18-0771	コーナン商事株式会社 （輸入事業者）	重傷1名	当該製品に座ったところ、当該製品の座面裏の金具が外れて臀部を強打し、負傷した。現在、原因を調査中。	愛知県	

3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201200580	平成24年9月27日	平成24年11月5日	電動車いす(ジョイスティック形)	重傷1名	当該製品に乗ってスロープを登坂中、後方に転倒し、負傷した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	和歌山県	事業者が事故を認識したのは、10月25日
A201200584	平成24年10月30日	平成24年11月6日	電気こんろ	火災	当該製品で調理中、周辺を焼損する火災が発生した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	東京都	
A201200588	平成24年10月27日	平成24年11月6日	電気洗濯機	火災	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品から出火したのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	北海道	
A201200589	平成24年10月25日	平成24年11月6日	電動丸ノコ	死亡1名	当該製品で作業中、足を負傷し、翌日死亡した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	新潟県	
A201200590	平成24年10月3日	平成24年11月7日	電動座椅子(座面昇降型)	重傷1名	当該製品に着座中、座面を下げたところ、座面と床の間に足を挟み、負傷した。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	東京都	

4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故情報検討会及び第三者委員会合同会議において審議を予定している案件

該当案件無し

自転車（管理番号：A201101036）

折りたたみ椅子（A201200586）